



カンヒザクラ

学名	Prunus cerasoides ver. Campanulata
科名	バラ
別名	ヒカンザクラ
区分	まちかど しょうぶつ 街角の植物
分布	たいわん ちゅうごくなんぶげんさん おきなわ 台湾、中国南部原産、沖縄で やせいか 野生化

葉の形	だえんけい ちょうだえんけい 楕円形、長楕円形
葉の縁	きよし 鋸齒
葉の先	びじょうけい 尾状形
葉の種類	たんよう 単葉
葉の付方	ごせい 互生
葉の基部	えんけい 円形
実の種類	かくか 核果
花・萼色	ひせきしよく 緋赤色

説明

1月から2月ごろ緋赤色の花を咲かせ、日本一早い桜の開花となります。ソメイヨシノのように花弁が散ることはなく、花ごと落ちるかまたは枯れたまま残ります。沖縄に自生する落葉の高木で、石垣島には現在も自生種生息地があり、国の天然記念物に指定されています。